

レジメン登録フォーマット

申請年月日	平成30年5月14日	使用開始日	
登録診療科	血液内科	申請医師	上田 周二
レジメン名	R-MA(60歳以上)		
疾患名	非ホジキンリンパ腫	適応の備考	CD20陽性のB細胞性非ホジキンリンパ腫
適応分類			60歳未満の患者はR-MA(60歳未満)を使用する
1コース日数	21 日間	総コース数	4 コース
抗がん剤投与量・投与日	リツキシマブ375mg/m ² day1	メソトレキセート1000mg/m ² day2、キロサイド1000mg/m ² ×2 day3,4	催吐性リスク day1:最小度、day2-4:中等度
治療スケジュール・投与日程(投与日は●)	(day)		

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
1	側管①	生食500mL	0.675 本 / m ²		●																					
	点滴静注	リツキシマブ注	375 mg / m ²	下記	●																					
10倍に希釈する。																										
2	側管①	グラニセトロン注ハッグ1mg/50mL	1 本 / body			●	●	●																		
	点滴静注	デキサート注6.6mg	1 本 / body	30 分		●	●	●																		
		デキサート注1.65mg	2 本 / body				●	●	●																	
3	側管②	生食100mL	1 本 / body			●																				
	精密持続静注	メソトレキセート注	200 mg / m ²	60 分		●																				
4	側管②	生食500mL	1 本 / body			●																				
	精密持続静注	メソトレキセート注	800 mg / m ²	23 時間		●																				
5	側管①	生食50mL	1 本 / body				●	●	●																	
	点滴静注	ロイコボリン注3mg	15 mg / body	5 分			●	●	●																	
		メソトレキセート投与開始36時間後に投与開始し、その後6時間毎に計8回投与する。																								
6	側管②	生食250mL	1 本 / body				●	●																		
	点滴静注	キロサイド注	1000 mg / m ²	2 時間			●	●																		
12時間ごとに1000mg/m ² を投与する。																										
7	側管②	生食250mL	1 本 / body				●	●																		
	点滴静注	キロサイド注	1000 mg / m ²	2 時間			●	●																		
12時間ごとに1000mg/m ² を投与する。																										
8	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●	●	●	●																		
	点滴静注																									
9	経口投与	ボラミン錠2mg	1-3 錠 / body			●																				
		ジクロフェナクNa錠25mg	1 錠 / body			●																				
リツキシマブ投与の30分前																										

【投与上の注意】

キロサイド: 60才以上では、キロサイドを1000mg/m² 12時間毎に変更する。

キロサイド: 大量投与時、結膜炎予防のためのステロイド点眼を行う。例えば0.1%フルメトロン点眼、1日3回、両眼、キロサイド投与前日から投与終了の翌日まで。

メソトレキセート: 血中濃度を測定する。

リツキシマブ: 前投薬としてボラミン(2)1~3錠、ジクロフェナクNa(25)1錠を内服する。

リツキシマブ: 初回はECGモニターをつける。

リツキシマブ: 投与速度は初回は25mL/h×1h、100mL/h×1h、残りは200mL/hとする。

リツキシマブ: 2回目以降はinfusion reaction が初回にしなければ100mL/h×1h、残りは200mL/hとする。

ロイコボリン: メソトレキセート投与開始36時間後に投与開始し、15mg/bodyを6時間毎に計8回投与する。

day1-5は、主ルートにメイロン7% 20mL等を加えた輸液を投与する

・day2-4のデキサート注は、6.6mgでもよい。